2016年度

都市史学会 大会 Osaka 大阪

社会的結合と都市空間

近年進展しつつある都市大阪の研究を軸に、都市における社会的結合と都市空間形成に着目した都市史の方法と成果を論じ、その課題を探る。具体的には、古代~近現代にわたる都市の形成・展開を視野に、大阪の都市史研究の到達点と課題を探るとともに、商人集団の社会的結合と都市空間形成の関係に注目した比較類型史を通じて研究の相互交流をはかりたい。また、若手を含む個別報告セッション等により大阪での取り組みを発信し、都市史研究の裾野拡大にも寄与したい。

プログラム　会場＝大阪歴史博物館4階講堂

12月10日 土　12:30—16:30（12:00開場）

都市史学会総会（会員のみ）

シンポジウム＝**社会的結合と都市空間**（13:30開始、非会員の方もご参加いただけます）

Session 1 大阪における都市史研究の方法と課題

基調報告 **近世大坂の都市社会構造**｜塚田　孝（大阪市立大学）

大阪研究の軌跡と現段階

報告 **古代難波の都市性の発現——研究の到達点**｜岸本直文（大阪市立大学）

報告 **古代～中世大坂研究の進展——上町台地を中心に**｜大澤研一（大阪歴史博物館）

報告 **近世大坂研究の展開とその軌跡**｜森下　徹（山口大学）

報告 **近現代大阪研究の現状と課題**｜島田克彦（桃山学院大学）

パネル・ディスカッション **都市史研究の方法と巨大都市大阪**

コーディネーター＝仁木　宏（大阪市立大学）＋八木　滋（大阪歴史博物館）

懇親会　17:15より1階「スターアイル」にて（事前予約制、詳細はウェブサイトをご確認ください）

12月11日 日　9:45—16:30（9:30開場）

Session 2 都市史研究の新展開

報告 **高知藩製砂糖の流通と大坂**｜北野智也（大阪市立大学）

報告 **近世大坂の上荷船・茶船仲間**｜井戸田史子（関西学院大学）

報告 **明治期京都の町組織と道路整備事業**｜岩本葉子（京都大学）

Special Session

特別報告 **近世大工頭・中井家文書の保存・修復と研究上の意義**｜谷　直樹（大阪くらしの今昔館）

Session 3 都市空間の中の商人集団と異文化交流

基調報告 **都市空間の中の商人集団と異文化交流——中世ヨーロッパを例に**｜大黒俊二（大阪市立大学）

報告 **近世オスマン帝国下カイロのヴェネツィア人集団**｜堀井　優（同志社大学）

報告 **近世商都アムステルダムと商人邸宅街**｜杉浦未樹（法政大学）

報告 **近世港町長崎の都市空間——唐船貿易との関連から**｜彭　浩（大阪市立大学）

パネル・ディスカッション　コーディネーター＝大黒俊二＋松井洋子（東京大学）

大阪歴史博物館
540-0008　大阪市中央区大手前4丁目1-32
地下鉄谷町線・中央線谷町四丁目駅2号・9号出口／大阪市営バス馬場町バス停前

主催＝都市史学会（大阪大会実行委員会）　共催＝大阪歴史博物館　後援＝大阪市立大学 都市文化研究センター（UCRC）

資料代＝会員2,000円／非会員2,500円／学生・院生1,000円

お問い合わせ＝2016年度都市史学会大会実行委員会　convention2016@suth.jp　電話：06-6605-2398
558-8585　大阪市住吉区杉本3-3-138　大阪市立大学大学院文学研究科日本史学教室　佐賀　朝　http://suth.jp

都市史学会
Society of Urban & Territorial History